

令和3年度 一般財団法人日本私学教育研究所

私立学校若手教員(初任者等)全国研修会

(東日本会場)・(西日本会場)

実施案内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所

後援 日本私立中学高等学校連合会／日本私立小学校連合会

【研究のねらい】

最新の教育界の動向や私立学校若手教員としての学校内での役割と責任について学び、学校組織運営において積極的な役割を果たす教員を育成する。

【参加対象者】

都道府県私学協会に加盟する全国の私立小学校・中学校・高等学校・中等教育学校に在職する若手教員(経験6～10年程度)で学校長が推薦する者。

激動の時代に耐えるレジリエントな私学教育とは？

昨年来の新型コロナウイルスの流行は未だに収束の気配を見せず、ここに至って変異株も発見されるなど、世界中に大きな影響を与え続けています。こうした中、私たちは昨年2月の休校要請以来、「児童生徒の安心安全を守る」「学びを止めない」を合言葉に困難に立ち向かい、教育活動再開に漕ぎつけました。この結果、多くの学校ではこれらの経験が将来への財産へと転嫁され、新年度が始まりました。

しかしここで大切なのは、「見慣れた光景を復活させること」に安住するのではなく、これまでの経験の中から“10年先の未来”を読み取り、今後の予測不能な出来事に直面したときへの備えとして、常に怯むことなく最善策を求めてゆく逞しさ(レジリエンス)を養うことではないでしょうか。

今年度も昨年度に引き続き、「私立学校若手教員(初任者等)全国研修会」と「中堅教員研修会」を同日・同会場で開催いたします。今回のコロナ禍では、教科・学年といった枠組みを超えた教員間の連携・協働が事態打開の大きな原動力となりました。そこで今年度はさらにブラッシュアップを図り、教育活動とICTのあり方を考察しながら、「若手」「中堅」両者が講義とワークショップを通じて連携・協働・組織づくりへの未来を探り、「レジリエントな私学教育」の姿を描くことに挑戦する研修会といたしました。奮ってご参加ください。

【西日本会場】

会期：令和3年10月8日(金)～10月9日(土)

会場：スペースアルファ三宮「特大会議室」

兵庫県神戸市中央区三宮町1-9-1 三宮センタープラザ東館6階

【東日本会場】

会期：令和3年10月15日(金)～10月16日(土)

会場：主婦会館プラザエフ 7階「カトレア」

東京都千代田区六番町15

【募集定員】

両会場 各60名 (会場の関係で参加人数を調整させていただく場合があります。)

【参加費】

15,000円(会期中2日間の昼食費を含みます。)

◎勤務校の所在地に関わらず、東西どちらでもご都合のよい方でご参加いただけます。

◎宿泊のご用意はいたしておりませんので、必要な方は各自でご手配ください。

実施日程

西	東	実施時間	研修プログラム
10 月 8 日 (金)	10 月 15 日 (金)	9:30	開会式・諸連絡
		9:45~11:00	研修 1 講義 〔若手・中堅共通〕 「私学人の心得(在野の精神を貫け!)」 講師：平方 邦行 (一般財団法人日本私学教育研究所 所長) ★変容するグローバル社会に、私学人としてどう動くか考察します。
		11:15~12:45	研修 2 実践報告 〔若手・中堅共通〕 「コロナ禍における私学の取り組み」 講師：田原 俊典 (修道中学高等学校 校長) ★コロナ禍にどう立ち向かってきたのか、私立学校の実践から学びます。
		12:45~13:45	休憩・昼食
		13:45~17:00	研修 3 講義・グループワーク 「チーム学校と若手教員の役割」 講師：広石 英記 (東京電機大学 副学長) ★チーム学校の意義を再認識し、若手教員の役割と働きについて学びます。
10 月 9 日 (土)	10 月 16 日 (土)	9:00~12:15	研修 4 講義・グループワーク 「主体的・対話的で深い学びと ICT」 講師：今野 貴之 (明星大学教育学部 准教授) ★「学び」に活かす ICT の活用とは何かについて考えます。
		12:15~13:15	休憩・昼食
		13:15~16:05	研修 5 講義・グループワーク 〔若手・中堅共通〕 「レジリエントなスクール・マネジメントへの挑戦」 ファシリテーター：広石 英記 (東京電機大学 副学長) ★2 日間の研修内容を踏まえ、若手教員と中堅教員が一緒にグループワークを行い、困難に立ち向かうレジリエントな私学教育の構築に挑戦します。
		16:20~16:40	振り返り・アンケート記入・閉会式
		16:50	終了予定

講師プロフィール



【研修 1】

平方 邦行 (HIRAKATA, Kuniyuki)

一般財団法人日本私学教育研究所所長、日本私立中学高等学校連合会常任理事。工学院大学附属中学高等学校理事・校長等を経て、令和3年4月より現職。変容するグローバル社会に対応した「21世紀型教育」の重要性にいち早く着目し、勤務校でICT環境の整備、英語教育改革を推進した。文部科学省「デジタル教科書の今後の在り方等に関する検討会議」の委員も務める。



【研修 2】

田原 俊典 氏 (TABARA, Toshinori)

修道中学高等学校校長。同校は広島県の藩校（1725年創始）をルーツとしながら私立学校となったユニークな学校で、その伝統を継承し世の中を牽引する次代のリーダーを数多く輩出している。昨年度コロナ禍に直面した際も教員・生徒・保護者との強固な信頼関係のもと学校全体を力強く牽引した。平常時のリスクマネジメントに対する意識についても必聴。西海岸出身（本人談）。



【研修 3・5】

広石 英記 氏 (HIROISHI, Hideki)

東京電機大学副学長・工学部人間科学系列教授。専門は教育学（教育哲学、教育方法学）。他に教育改革推進室長、教職課程を担当し、数学、理科、情報等の現職約200人を指導する傍ら、慶應義塾大学や早稲田大学、上智大学などで非常勤講師も務める。研究テーマは「PBL型の総合学習の構想」で、最新著書に『学びを創る・学びを支える—新しい教育の理論と方法』（一藝社、2020）がある。



【研修 4】

今野 貴之 氏 (KONNO, Takayuki)

明星大学教育学部教育学科准教授。専門は教育学（授業研究・教師教育）。2019年日本教育工学会第34回奨励賞受賞。日本国内、および途上国の教育機関やNPO/NGOと連携して、教師の授業力向上や他者と協働する仕組みづくりのための研修や授業研究を実施・研究している。著書『主体的・対話的で深い学びの環境とICT-アクティブ・ラーニングによる資質・能力の育成』（東信堂2017）がある。

過年度の研修会の様子&ご参加いただいた方々の声



学校で起こる危機に対して日頃からどのような心掛けが必要か、様々な事例紹介と意見交換から多くを学ぶことができた。



中堅教員とのグループワークが新鮮で、経験豊かな発想に触れることができた！今後もこうした形で実施してほしい。



これまであまり意識しなかった学校運営における若手教員の役割や責任について、深く考える機会となった。勤務校で役立てたい。

参加申込方法ならびに注意事項

【参加申込方法】

1. 参加申込書に必要事項を記入し、下記「送付先」へ FAX または郵送にてお送りください。

申込先 一般財団法人日本私学教育研究所 若手教員研修係

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UNビル 6 階

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683 E-mail : kenkyu-kenshu@shigaku.or.jp

ホームページ <https://www.shigaku.or.jp/>

申込締切日: 令和 3 年 9 月 24 日 (必着)

※申込は先着順といたします。募集定員を超過した場合は、期日前でも締め切らせていただく場合があります。

※申込締切の場合は当研究所ホームページでお知らせいたします。

2. 参加申込書受付後、「参加確認証」及び「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」を学校長様宛にお送りいたします。指定払込書をご利用の上、振込期限までに参加費をお振込みください。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管してください。参加確認証は、研修会当日に受付にご提示ください。

【注意事項】

★申込後、2 週間以内に「参加確認証」、「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」が届かない場合は、必ずお電話にてご確認ください。

★参加申込後のキャンセル等につきましては、必ず FAX にて当研究所へご連絡ください。

★研修会開催日の一週間前[東日本: 10 月 8 日(金) / 西日本: 10 月 1 日(金)]までにキャンセルのご連絡があった場合には、事務手数料 1,000 円を差し引いた金額を、研修会終了後 1 ヶ月以内に学校長様宛に現金書留にて返金いたします。それ以降のご連絡や無断欠席の場合には、返金はできません。研修会資料の送付をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として全額(15,000 円)を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応いたしますのでご相談ください。

【新型コロナウイルス感染症について】

〈お願い〉 ○会期中はマスク等の着用、咳エチケット、手洗い及び手指の消毒、社会的距離の確保にご協力ください。

○当日 37.5 度以上の熱のある方、体調のすぐれない方などは出席をお断りする場合があります。

その際は研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。

○参加費の返金・キャンセル料の取り扱いについては、各研修会実施案内をご確認ください。

○受付時に「体調管理チェックシート」をご提出いただく場合があります。

〈対策〉 ○受付での検温及び手指の消毒、会場・備品の消毒・換気、座席の間隔を広げ人と人との距離をとるなど密閉、密集、密接の回避に努めます。

○必要に応じて飛沫防止パーティション等を設置します。

○講師並びに運営関係者・スタッフはマスク等を着用するなど感染防止に努めます。

○座席は指定席とします。

〈対応〉 ○新型コロナウイルス感染が疑われる研修会参加者・関係者が発生した場合は、保健所等の公的機関に協力し、必要な情報提供を行います。

★新型コロナウイルス感染症への対策・対応等は随時更新しますので、当研究所ホームページをご覧ください。

【個人情報の取り扱いについて】

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合にのみ利用します。

【傷害保険について】

当研修会期間中の参加者等の傷害保険には加入しませんので、予めご承知おきください。

会場案内

【東日本会場】主婦会館プラザエフ

東京都千代田区六番町 15

TEL 03-3265-8111



【西日本会場】スペースアルファ三宮

神戸市中央区三宮町 1-9-1 (センタープラザ東館 6 階)

TEL 078-326-2540



令和3年度 私立学校若手教員(初任者等)全国研修会 参加申込書

[-] ← 研究所使用欄

送付先 一般財団法人日本私学教育研究所 FAX 03-3222-1683

【申込締切日:9月24日(金) 必着】

- 太線枠内に必要事項を記入または該当する事項に○印をしてください。
 ○「※」の項目は実施要項の参加者名簿に記載します。他は研究所が統計上の記録・調査に使用します。
 ○申込はお一人一枚に記入いただき、複数名お申し込みの場合は、用紙をコピーしてご利用ください。

研修会 ○で囲んでください	東日本 No.116 10月15日・16日(主婦会館プラザエフ)	西日本 No.117 10月8日・9日(スペースアルファ三宮)	
※都道府県名	※学校名		
学校所在地 〒			
TEL		FAX	
ふりがな ※参加者氏名	性別[] 年齢[]	緊急連絡先 (自宅・携帯電話番号等連絡が取れるところ)	
職名 ○で囲んでください 教諭・講師(常勤・非常勤) その他()	※教科	担当科目	校務分掌(委員会)
教職経験の有無(職名を問わず) 現勤務校に今年度で(年目)・一年未満 それ以前に、私立学校 年・公立 年 勤務		教職以外の就業経験 有 (年間) ・ 無	
現在のクラス担任 有 (小・中・高 年生) ・ 無		現在担当のクラブ活動 有 () ・ 無	
メールアドレス:当研究所からの研修会案内等のメール配信希望の方は、メールアドレスをご記入ください。(携帯電話のメールは不可)			
一般財団法人 日本私学教育研究所 御中		令和3年 月 日	
上記の通り申し込みます。		学校長氏名 印	
【通信欄】			